

事業所名		児童発達支援 すまびパーク曳舟				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		14 日		(別添資料1)	
法人（事業所）理念		「楽しい！できた！」があふれ、子ども・保護者・職員の全員が幸福を感じられる場所をつくる															
支援方針		①一人ひとりに合わせた個別支援 ②運動療育を基盤としたカリキュラム ③木育×はだしで過ごす環境 ④預かり型&送迎ありの支援															
営業時間			9 時	30 分	から	15 時	30 分	まで	送迎実施の有無		あり なし						
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	①一日の預かりのなかで、睡眠・食事・排泄等の基本的な生活動作の活動、身辺自立を促す ②更衣・排泄等の基本的な生活スキルの獲得をできるような機能訓練を行う ③運動を通し、自己免疫能力を上げたり、疲れにくい体づくりを行い、活動の幅を広げる															
	運動・感覚	①運動療育を通して、日常生活や姿勢維持など、運動の基礎となる体の使い方の習得を行う ②様々な動きを通して、ボディイメージを形成し、体をコントロールするための基礎を構築する ③運動の中で、眼球運動を促し、目と体の協調的な運動能力を向上させ、就学後を見据えた板書など学習能力の向上につなげる															
	認知・行動	①感覚統合トレーニングを通して、活動の基礎・土台を作る ②リズムトレーニングを通して、運動機能や聴覚機能の発達を促す ③運動療育やビジョントレーニング、机上での活動などにより、空間・時間・数・形などを把握する能力を養う															
	言語 コミュニケーション	①運動療育を通して、発語に必要な機能を高める。 ②ペアなど少人数～集団でのトレーニングを行うことにより、コミュニケーション能力の向上を図る ③情報提示の方法を工夫し、読み書き能力やサインの理解などの能力向上を図る															
	人間関係 社会性	①言葉や気持ちの表出を促し、支援者とのコミュニケーションを図る ②他者の動きを模倣し、社会性や他者理解を支援する ③集団での活動を通し、他者との関わり方やルール理解を学び、自宅でも親子でのアタッチメントを形成できるような運動プログラムを実施する															
家族支援		お子さまの通所時の様子や施設外の家庭などでの様子の情報共有を行い、子どもの発達状況や特性の理解、子育てなどに関する相談援助やペアレントトレーニング、また、レスパイトや就労等の預かりニーズに対応する						移行支援		地域の他の子どもや大人と繋がりながら日常生活を送ることを見据え、移行に向けた準備や、強化子がなくても適切な行動をとれるような移行支援プログラムを実施する							
地域支援・地域連携		通所するお子さまが利用する保育園・幼稚園・児童館など、地域の関連施設との連携を通して、必要な支援を多角的に検討～実行するとともに、研修や勉強会を実施するなど、他事業所への支援も行う						職員の質の向上		日次・月次で行う社内ミーティングや社内研修、マネジメントとの1on1、定期的な外部講師による研修やワークショップを実施し、職員の専門的な知識やスキルの向上を図る							
主な行事等		季節やライフイベントにまつわる制作遊びや催し、遠足などのお出かけを毎月企画～実施する															